



Tottori Pref.

県内発生期

高病原性鳥インフルエンザ 対応防疫対策本部会議

平成23年2月21日(月)15:00~

鳥取県高病原性鳥インフルエンザ対応防疫対策本部

次 第

1. あいさつ
2. 経緯
3. 今後の対応

経緯

場所	鳥の種類	発見日時 (収容日時)	発見者	発見時の 状況	収容者	簡易検査 日時	簡易 検査 結果	国立環 境 研究所 検体 送付日	送付 先	遺伝子 検査 結果 判明日	遺伝子 検査 結果
米子市車尾 (道路上)	キンクロハジロ	2011/1/31 12:55通報	県民	死亡	西部総合事務所 生活環境局職員	2011/2/1 11:30	陰性	2/1	国環研	2/20	インフルエンザ A型陽性
大山町所子 (山陰道路上)	キンクロハジロ	2011/2/1 16:15通報	通行者	死亡	西部総合事務所 生活環境局職員	2011/2/2 12:30	陰性	2/2	国環研	2/20	インフルエンザ A型陽性
米子市西町 (中海護岸)	ホシハジロ	2011/2/3 14:20通報	国指定鳥 獣保護区 管理員	死亡	国指定鳥獣保護区 管理員	2011/2/3 16:00	陰性	2/4	国環研	2/20	インフルエンザ A型陽性
境港市米川町 (駐車場)	キンクロハジロ	2011/2/4 8:40通報	県民	死亡	西部総合事務所 生活環境局職員	2011/2/4 14:30	陰性	2/4	国環研	2/20	インフルエンザ A型陽性
米子市東福原 (畑地)	ハヤブサ	2011/2/6 14:00通報	県民	衰弱	西部総合事務所 生活環境局職員	2011/2/7 16:00 (11:00死亡確認)	陰性	2/8	国環研	2/20	インフルエンザ A型陽性
米子市車尾 (歩道上)	オナガガモ	2011/2/7 7:20通報	県民	死亡	西部総合事務所 生活環境局職員	2011/2/7 16:00	陰性	2/8	国環研	2/20	インフルエンザ A型陽性

発生地から半径10kmの監視強化区域

2月4日境港市キンクロハジロに係る区域

2月6日米子市ハヤブサに係る区域

2月1日大山町キンクロハジロに係る区域



2月3日米子市ホシハジロに係る区域

1月31日米子市キンクロハジロに係る区域

2月7日米子市オナガガモに係る区域


※  は、従前の監視強化区域

表 I-1 警戒レベルに応じた野鳥サーベイランスの実施概要

警戒区分	鳥類生息状況等調査	ウイルス保有状況調査				
		死亡野鳥等調査		糞便採取調査	野鳥捕獲調査	
		感染リスクの高い種（表 I-4 参照）	その他の種			
通常時 (レベル1)	日常的監視	同一場所で3羽以上死亡している場合（タカ目は1羽から）に検査	同一場所で10羽以上死亡している場合に検査	10月～翌年5月までの間、環境省が予め決めた地点で糞便を採取し、検査		
警戒時 (レベル2)	監視強化	死亡1羽から検査	(レベル1と同じ)	(レベル1と同じ)		
国内発生時 (レベル3)	発生地周辺 (発生地から半径10km以内、但し、状況に応じ最大半径30kmまで拡大)	野生鳥獣の異常の監視	死亡1羽から検査	3個体以上死亡している場合（哺乳類含む）に検査	糞便採取調査を追加 (1ヶ所100個)	野鳥捕獲調査を実施 (1ヶ所100羽)
	それ以外の地域	監視強化	死亡1羽から検査	(レベル1と同じ)	(レベル1と同じ)	

※レベル2以降の警戒区分においては、カラス類等の生息数の多い種について、検体数が急激に増えることが予想されるため、都道府県の検査体制を踏まえ実施すること。

県内での野鳥監視の状況

(H23. 2. 20現在)

	通報 件数 (件)	収容羽数 (羽) ※1						検 査 対 象 外	
		うち簡易検査							
						遺伝子検査			確定検査
東部	248	20	未実施				—	—	20
中部	120	13	未実施				—	—	13
西部	595	310	陽性	0	鳥取大学	陰性	119	—	114
						陽性	1	※3	
			陰性	196	国環研	陰性	15	—	
						陽性	※4	8	
					未判定	24			
計		※2	167	3					
	963	343		196		167		147	

※1 通報時の聞き取りや現地での状況から、衰弱原因が明らかなものや外傷性のものは検査対象外として収容していないもの。(通報件数と収容羽数の相違)

※2 確定検査基準外の29羽について、住民等の要請により独自に簡易検査を行ったもの。(簡易検査数と確定検査数の相違)

※3 鳥取大学の陽性個体は、12月18日に米子市で発見されたコハクチョウ

※4 国環研の検査陽性個体は、前回の2個体と、この度の6個体

野鳥收容(簡易検査)の推移

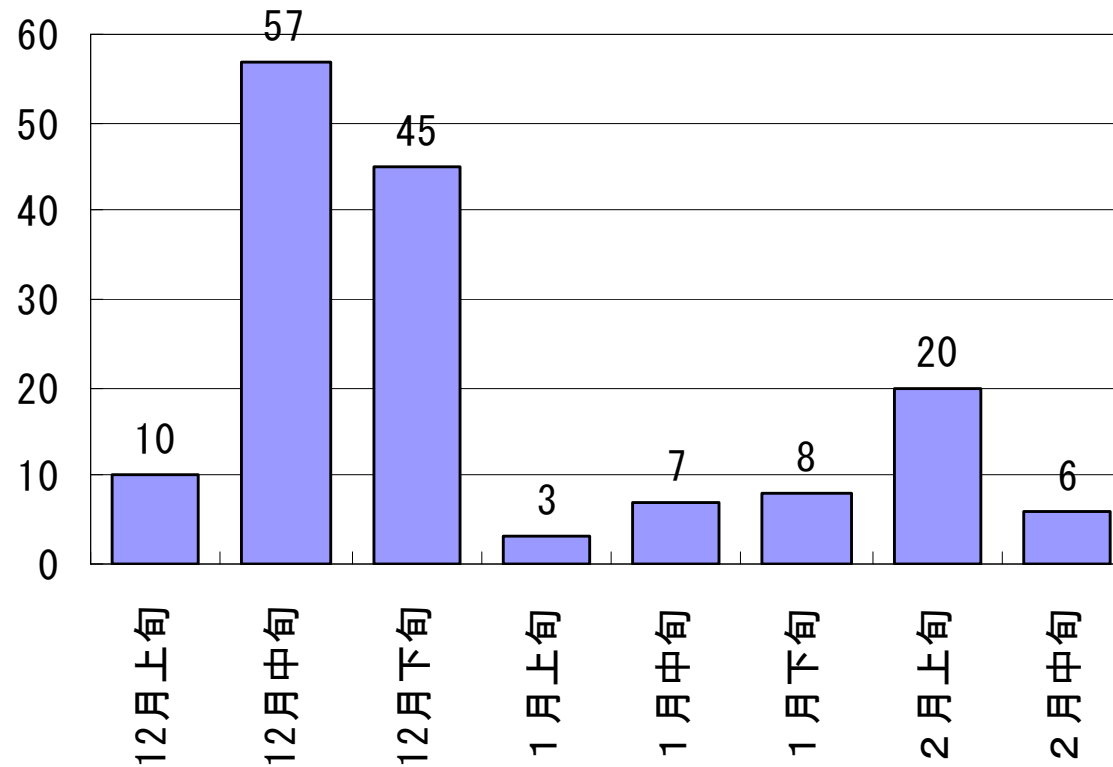


図 收容件数 (～2月16日)

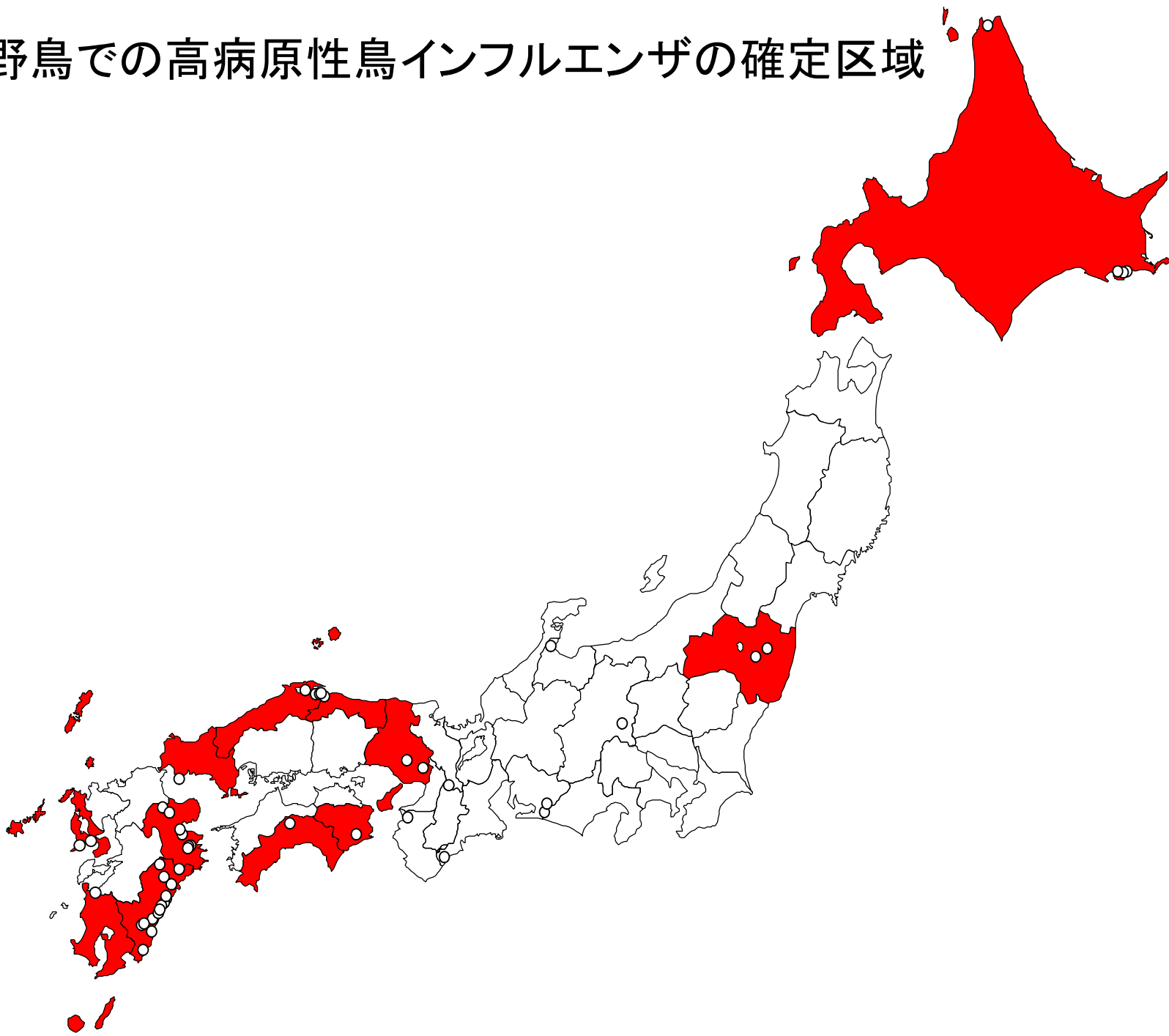
全国の野鳥等の発生状況

(H23.2.21現在)

野鳥種別発生状況

種	都道府県	地域	備考
オオハクチョウ	1道	3地域	北海道浜中町
コハクチョウ	2県	2地域	鳥取/福島
オナガガモ	1道	1地域	北海道浜中町
ホシハジロ	1県	1地域	兵庫
キンクロハジロ	4県	4地域	福島/島根/鳥取/山口
オシドリ	4県	4地域	高知/長崎/宮崎/大分
スズガモ	1道	1地域	北海道浜中町
カイツブリ	2県	2地域	兵庫/宮崎
ナベヅル	1県	1地域	鹿児島
ハシブトガラス	1県	1地域	大分
ハヤブサ	2県	3地域	長崎/宮崎
フクロウ	1県	1地域	徳島
ユリカモメ	1県	1地域	鳥取
13種	1道11県	19地域	

野鳥での高病原性鳥インフルエンザの確定区域



日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況

平成23年2月18日

- : 家きん
- : 野鳥
- : 家きん以外の鳥類

〈平成23年〉 H5N1亜型 (強毒)
2月 大分県大分市
(1農場 約8,100羽)

〈平成22年〉 H5N1亜型 (強毒)
11月 鳥根県安来市
(1農場 約2万羽)

〈平成23年〉宮崎県
1月 宮崎市(佐土原町)、新富町、都農町、川南町、延岡市(北川町)、高鍋町、宮崎市(高岡町) : H5N1亜型 (強毒)
2月 高千穂町、都農町、門川町、宮崎市(高岡町) : H5N1亜型 (強毒)
延岡市(北浦町)
(12農場 約99万羽)

〈平成23年〉H5N1亜型 (強毒)
1月 鹿児島県出水市
(1農場 約8,600羽)

〈平成23年〉
2月 和歌山県紀の川市
(1農場 約10万羽 他に疫学関連2万羽)

〈平成23年〉
2月 三重県南牟婁郡
(1農場 約67,000羽)

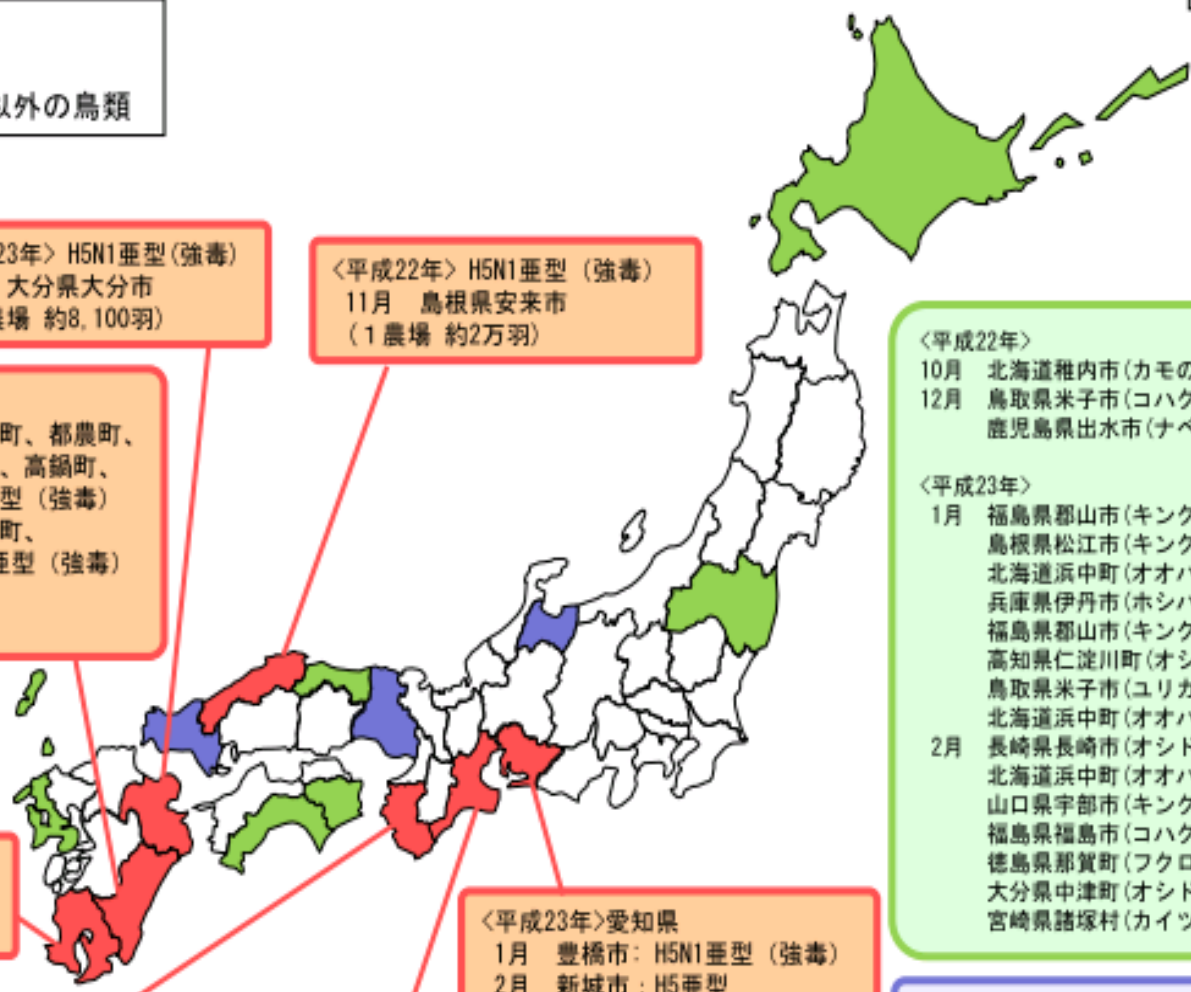
〈平成23年〉愛知県
1月 豊橋市 : H5N1亜型 (強毒)
2月 新城市 : H5亜型
(2農場 約17万羽)

〈平成22年〉
10月 北海道稚内市(カモの糞)
12月 鳥取県米子市(コハクチョウ)
鹿児島県出水市(ナベヅル)

〈平成23年〉
1月 福島県郡山市(キンクロハジロ)
鳥根県松江市(キンクロハジロ)
北海道浜中町(オオハクチョウ等)
兵庫県伊丹市(ホシハジロ・カイツブリ)
福島県郡山市(キンクロハジロ)
高知県仁淀川町(オシドリ)
鳥取県米子市(ユリカモメ・キンクロハジロ)
北海道浜中町(オオハクチョウ)
2月 長崎県長崎市(オシドリ)
北海道浜中町(オオハクチョウ)
山口県宇部市(キンクロハジロ)
福島県福島市(コハクチョウ)
徳島県那賀町(フクロウ)
大分県中津町(オシドリ)
宮崎県諸塚村(カイツブリ)

〈平成22年〉
12月 富山県高岡市(動物園のコブハクチョウ)

〈平成23年〉
2月 兵庫県加東市(公園のコブハクチョウ)
2月 山口県宇部市(公園のコクチョウ)



監視区域(予定)内の養鶏場への対応

	農場数	羽数	備考
採卵鶏	8	139,050	
肉用鶏	26	1,186,000	
肉用種鶏	4	47,400	
その他	1	500	中小家畜試験場
計	39	1,372,550	

H23.2.21

- 監視区域(予定)内の39農場への電話聞き取りによる異常の有無の確認を西部家畜保健衛生所が実施中
- 区域内の市町村と連携し、小規模飼養者への注意喚起を継続して実施中

全県下の養鶏場・小規模飼養者について、野鳥の侵入防止などの徹底状況を確認中（1月末～2月末まで）

現在までの対応状況

- ① 県内養鶏農場及び愛玩鳥等飼養者の飼養衛生管理の状況調査、指導を継続中
- ② 消毒薬の配布
 - 養鶏農場・・・12月から1月に配布
 - 愛玩鳥等・・・市町村を通じて配布済み(411戸)
- ③ 防鳥ネット整備に対する助成
 - 年度内に3戸の農場で実施中
 - 2月補正予定・・・鶏舎以外のネット整備予定
 - 平成23年度・・・6農場で実施中
- ④ 移動性制限区域内の農場への助成措置
 - 1月28日支払い済み

県内養鶏農場等の飼養衛生管理の 状況調査・指導状況(2月18日現在)

家保	養鶏農場	愛玩鳥等
	調査済／農場数	調査済／対象数
鳥取	7／7	77／77
倉吉	33／33	135／142
西部	45／45	192／192
合計	85／85	404／411

※全農場とも鳥に異常なし。雪害によるネット破損等について指導

初動防疫用備蓄資材一覧

品名	数量
防疫服	2,100着
マスク	1,300枚
ゴム手袋（インナー）	1,300双
ゴム手袋（アウター）	1,300双
ゴーグル	1,300個
長靴	1,300足
下着（上下セット）	850セット
軍手	960双
サンダル	300足
雨合羽（上下セット）	850着
消石灰	500袋
炭酸ソーダ	104袋
鎮静剤	220本
鶏焼却用ペール缶	2,000箱

品名	数量
フレコンバッグ 1トン	100枚
フレコンバッグ 500kg	100枚
ブルーシート	100枚
鶏焼却用段ボール	1,020箱
荷造りロープ	7巻
荷崩れ防止フィルム	16巻
ガムテープ	200個
カッターナイフ	10個
鶏焼却用ポリ袋	2,000枚
保定ロープ	15巻
動力噴霧器	14台
電気と殺機	3台
車両消毒マット	24枚
ボンベ用ホーン	20本

今後の対応(案)

(1) レベル3に対応した野鳥サーベイランスの実施

- ・従前の発生に伴う地区は、国基準に基づきレベル3の対応
- ・この度の6地区については、県独自でレベル3に準拠

(2) 県民へのお知らせ

(3) 相談窓口の設置